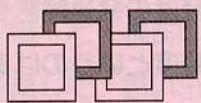




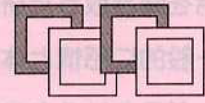
# あすなろだより

2006年12月15日

発行 三重県立小児心療センター <sup>こども</sup>あすなろ学園 広報担当  
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL.059-234-8700 FAX.059-234-9361  
MAIL: asunaro@gaea.ocn.ne.jp URL: http://www.asunaro.pref.mie.jp/



## 合同講演会・シンポジウム報告



2006年7月26日、三重県総合文化センター中ホールにおいて、平成18年度 あすなろ学園、三重県自閉症・発達障害支援センター合同講演会・シンポジウム『子育て支援～とぎれのない支援をめざして～』が行われました。今回は講演会の概要を紹介します。

### 講演会

#### 『ちょっと気になるから 始まる子育て支援』

##### <講師紹介>

田中 康雄 氏

1983年獨協医科大学医学部卒業

現在：北海道大学大学院教育学研究科付属  
こども発達臨床研究センター教授

著書：「軽度発達障害のある子のライフサイ  
クルに合わせた理解と対応」2006  
学研 等多数

こんにちは。頂いたテーマが「ちょっと気になるから始まる子育て支援」です。支援というかわる時には、きちんとした「知」と「思い」というものが重なっていかないとまくいかな。子どもが生まれてから身体の働き、知的な面の働き、そして心がどのように育っていくのかというもの

の経過を発達と呼び、これは遺伝、資質、もう一つ育つ環境が相互作用的に関係しているわけですが、これを少しおさらいしてから始めたいと思います。

生まれた時には、まだ何も情報としてまとまっていな。そしてこれからそれを一つずつ学んでいくというような混沌とした不安と恐怖、さてこれからどう僕は育っていくのだろうという内在した期待の中で赤ちゃんが生まれてくるということです。この混沌としたところが、主たる育てる人との間で徐々に安心に変わってくるのですね。頭の中で、「確かに安心できそうだなあ、この人はどうも安心を提供してくれそうだなあ」とおぼろげながら他者を認識していくうちに「僕たちは安心した関係だよ」と、一つ上から見た目でこの関係を見られるようになります。そうすると、子どもは一人でいられる、不確実な状況でも大丈夫と